

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	1 理念・目的	点検単位	現代社会学部 現代社会学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本学部の理念・目的については、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表1に「長く政治・文化の中心であり続け、諸外国との国際交流を通じて豊かな文化を育んできた街である京都の地であって、現代社会を理解するうえで必要な諸学問分野について、体系的かつ実証的な学びを提供します。自然科学から人文・社会科学までの学問分野における専門的知識・理解を深めるとともに、幅広い教養と汎用的技能、グローバルな視点が身につけられるようにします。その知識・理解・技能をもとに、主体的に認知する力、他者との相互理解に努める力、自ら課題を発見し解決できる力を養えるようにします。卒業後も学び続けられる、自立的な学習能力を身につけ、さらには、仏教精神を学ぶことを通して、宗教に対する正しい理解と正しい批判力とを身につけ、生涯を通じて、生きることを問い続けられるようにします。他者と協働しつつ、適切なリーダーシップを発揮して組織・集団を先導し、高い倫理観と責任感とをもって、社会に貢献できるようにします。4年間の学びを通して、情緒豊かで高雅な、凜とした品位ある女性人材の養成を目指します」として明文化されており、大学の教育目標から導かれ展開する構成となっており、その連関性は保たれている。このことから現状で変更の必要性はない。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本学部本学科の理念・目的は「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表1「教育目標」に明示され、また「学園要覧」「大学ホームページ」などにおいて広く社会に公表されている。また、オープンキャンパスや高校訪問、メディアを通じた広報活動においても積極的にその伝達に努めている。大学構成員や学科所属の学生に対しては、毎年度更新・編集されている「学習の手引き」内のMapping Contemporary Societyにおいて「人材養成に関する目的、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針」として記されており、履修ガイダンスやオリエンテーションなどを通じて、本学部本学科の理念・目的、教育課程、育成する人材像などについての説明を詳しく行っている。平成28(2016)年度学生生活実態調査におけるQ5「自分の所属する学科・専攻の教育目標や人材養成目標等を知っていますか」に「①知っている」と回答した割合は19.0%である。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

学生生活実態調査において、学科・専攻の教育目標や人材養成目標等を知っていると答えた本学科学生の比率は19.0%であり、全体平均の21.1%と比べてやや低くなっているため、広報媒体や学習の手引き、ガイダンスなどにおいて、これまで以上にわかりやすく表記・説明するよう工夫し、学科の理念・目的の認知率を20%まで向上させる。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた計画その他諸施策を設定しているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 個別の視点での入力不要
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b> <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b> <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

<b>一般的なコメント(総評)</b> 本学部・学科の理念・目的について、その現状、周知・公表および定期的検証についても的確に説明されており、評価できます。
<b>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</b>

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

<b>意見</b>
-----------

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	4 教育課程・学習成果	点検単位	現代社会学部 現代社会学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本学科の「学位授与方針」は、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」1別表「教育目標」を定め、これに基づき別表2「学位授与の方針」を定めている。「学位授与の方針」には課程修了にあたって習得しておくべき能力を「知識・理解」「汎用的技能」「思考・判断」「対話・相互理解」「社会性・自律性」「自立性」の観点から具体的に明示している。特に本学科では現代社会の諸分野についての専門的知識・理解・技能の習得を目標とするところが特徴である。「学位授与の方針」については、大学ホームページやMapping Contemporary Societyにおいても明示している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「学位授与の方針」に掲げた能力を取得させるため、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表3「教育課程編成・実施の方針」を定めている。「教育課程編成・実施の方針」には「学位授与の方針」との関連性を意識した回生ごとの教育課程の編成内容が、「現代社会専攻」「国際社会専攻」「情報システム専攻」のそれぞれにおいて示されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

現代社会学科においては、教育課程編成・実施の方針に基づき、自然科学から人文・社会科学までの幅広い分野について、現代社会に必要な学際的な視野を身につけ、同時に各自が選択し専門とする個別分野における極めて高い達成を可能にするよう、「現代社会専攻」「国際社会専攻」「情報システム専攻」からなる体系的な教育課程を編成し実施している。教育課程は共通領域科目と専門領域科目からなり、いずれも1年次から順次積み上げる形で履修する。また、1～3年次に積み上げる形で外国語、情報、調査に関するスキル科目を配している。共通領域科目は仏教学、言語コミュニケーション科目、情報コミュニケーション科目、教養科目、健康科学科目、キャリア教育科目からなり、専門領域には、導入科目、外国語、情報、調査の各項目に関わるスキル科目、7つの専門分野に分かれたクラスター科目、1～4年次を通して小人数でプレゼンテーションや質疑応答・対話のスキルを向上させつつレジюмеやレポート作成能力を身につける演習科目(必修)が配されている。加えて、希望者は「国際理解」「情報」「社会調査」「ビジネス」の各プログラム科目を履修してより深い学びを実現することができる。これらの達成の成果として、最終的に卒業論文を仕上げることにより、学位を取得する。資格取得に関しては、教員免許、社会調査士、社会調査実務士、情報処理士、上級情報処理士などに必要な科目が開設されている。本学科の教育目標と、設置されている授業科目との関係については、学生に配布されている「学習の手引」の中で、カリキュラムマップなどを通じて十分に説明されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

#### ④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 本学科では、教育目標達成のため、全年次において1クラス10-15名程度(最大20名)の演習科目を必修科目として配置している。1年次前期の基礎演習では共通の教科書を用いるなどして、初年次教育に配慮して教育内容の充実を図っている。1年次後期以降の演習科目では、少人数教育に基づき、発表や討論などによる主体的な学びを行う中で、学生はアカデミック・スキルを習得する。また2年次以降に配された専門外国語系科目、社会調査系科目などでも少人数クラスできめ細かな指導を行い、最終的な学習成果である卒業論文の作成へと繋げている。 また、多数の履修者がいる科目では複数開講により受講人数の適正化に努め、またグループワークやコメントシートなどを利用した、学生による主体的な学びを喚起する取り組みを行っている。 履修指導については、必要に応じて個々の学生のGPAに基づき実施しており、今後は「京女ポータル」上のLMSや学習ポートフォリオの利用も行う方針である。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

#### ⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 シラバスの「評価方法」の項目において、「評価項目」、「配分(%)」、「評価の観点」の小項目を設けて評価基準を明らかにし、厳格な成績評価を心がけている。提出された各学生の成績は、教務課・教務委員会によって確認・点検され、適切な単位認定が行われている。GPAが一定水準に満たない学生への指導や勧告の制度も導入している。また、「単位不認定に関わる成績問い合わせ期間」が設定され、教員の側は、シラバスに明示した評価方法・基準にしたがった評価を行い、学生からの問い合わせや異議申し立てに対して、シラバス記載内容に基づいて回答している。その結果、2016年度学生生活実態調査結果については、Q2-14「シラバス等で必要な学習情報が十分に提供されている」に「①そう思う」「②まあそう思う」と回答した割合が51.2%と過半数の学生から評価を受けている。なお、転入、編入学などに際しての既習単位の認定に関しては、教務課と本学科との間で協議が行われ、教授会での審議を経て適切な対応が行われている。卒業判定は学部教授会で2回に分けて審議される。1回目は、教務課が対象者を①卒業要件達成者、②再試・追試・卒業論文判定の結果次第で卒業要件を満たす可能性がある者、③後期の履修単位をすべて修得しても卒業要件を満たさない者、に分けた資料を提出し、それに基づき審議する。2回目は、上の②の者を対象に再試・追試・卒業論文判定の結果を踏まえ審議する。審議結果は意見として学長に伝え、最終的に学長が学位授与決定の手続きを行っている。学位授与にかかる基準は、「学位規程」「学習の手引」や本学ウェブサイトにも明記されている。 教学IRデータの成績分布においても、平成29(2017)年度卒業生で累積GPAで3.0以上が19.9%、2.5-2.99が38.6%、2.0-2.49が33.8%、2.0未満が7.7%とバランスの取れた適切な評価がなされている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし

<b>【将来に向けた発展方針】…実行可能な方針が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方針(伸長方針)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方針を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方針(改善方針)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方針を記入。</b>

**⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>
学習成果を測定する評価指標として、本学科では累積GPA、就職率、大学院進学率、資格・免許取得者数、退学率を用いている。本学科の2018年3月卒業生については、累積GPAが平均2.61、就職率89.4%、進学率1.4%、教員免許取得者数は10名、その他資格取得者数は、司書5名、博物館学芸員2名など合計28名、退学率3.8%となっており、概ね教育目標に沿った成果が上がっている。 なお、2017年度より、ジェネリックスキル測定テストや学習ポートフォリオ(京女ポータル)を導入しており、今後はこれらを活用した学習成果の把握・評価にも取り組む予定である。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方針】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし
<b>【課題および改善方針】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> ジェネリックスキル測定テストや学習ポートフォリオを用いた成果の把握を行う
<b>【将来に向けた発展方針】…実行可能な方針が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方針(伸長方針)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方針を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方針(改善方針)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方針を記入。</b>

**⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>
教育課程およびその内容、方法の適切性についての定期的検証は、授業評価アンケートや「学生生活実態調査」を用いて行っている。他にも教育内容・方法等を目的とした組織的な研修活動、具体的には、全学でのFD講演会、FD研究会(学科教員によるグループワーク等)、FD交流会(事例発表)、公開授業への参加、学外のFD関連研修・講演会への個別参加等を通して検証を行っている。また、授業評価アンケート、FD研修、公開授業などの結果を、教育課程や教育内容・方法の改善に結びつける作業としては、学科会議での授業評価アンケート項目の検討を毎年実施しており、各教員は意識をもって授業評価アンケートに対する「授業評価所見」を公表している。 2016年度学生生活実態調査結果では、◎学生生活実態調査Q2-16「授業評価などによる学生の意見が授業改善に反映されている」に「①そう思う」「②まあそう思う」と回答した割合は24.4%であり、二年前の値と比べて4.9ポイントの低下が見られている。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方針】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし
<b>【課題および改善方針】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 2016年度学生生活実態調査結果では、◎学生生活実態調査Q2-16「授業評価などによる学生の意見が授業改善に反映されている」に「①そう思う」「②まあそう思う」と回答した割合は二年前と比べて下がっており、授業アンケートの結果を各教員が授業改善につなげていることについて、学生に十分伝わっていない。この点について、授業アンケートに対し、教員は授業改善の努力を不断に行っているが、アンケートを集計し改善策を考案している間にアンケートに答えた学生が受講を終えてしまうことから、その改善努力について学生に伝えることは、簡単ではない面がある。この問題点を解決するためには教員間の連携が必要である。学科会議の際、また学科FDの取り組みとして、教員間で授業評価における学生意見について情報共有し改善方針を検討する。
<b>【将来に向けた発展方針】…実行可能な方針が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方針(伸長方針)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方針を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方針(改善方針)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方針を記入。</b>

## 内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

### 一般的なコメント(総評)

学位授与方針、教育課程とそれに基づく授業科目の開設、教育実践及び成績評価・単位認定・学位授与、教育内容・方法の検証等について、問題点が的確に認識され、改善に向けて適切な対応がなされていると評価できます。

### 改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

「授業評価などによる学生の意見が授業改善に反映されている」ことが必ずしも学生には十分伝わっていないという現状について、「教員間の連携」に言及されているものの、その対策が示されていないので、具体的な方策を記載して下さい。

## 内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

### 意見

学科会議の際、また学科FDの取り組みとして、教員間で授業評価における学生意見について情報を共有する。

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	5 学生の受け入れ	点検単位	現代社会学部 現代社会学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本学科の学生受け入れ方針は、京都女子大学学則第6条に基づき制定された「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」第3条「教育研究上の目的」に記された「入学者受入れの方針」別表4で次のように規定されている。「現代社会学科では主体的に学ぶ意欲のある学生を求めています。具体的には次のような人を求めています。1.責任ある社会人として積極的なキャリア形成を目指す人、2.社会に関する様々な情報を鵜呑みにせず、科学的な情報収集・分析力と、信頼される情報発信力を磨きたい人、3.情報処理、社会調査、コミュニケーションの技法を修得したい人、4.社会問題の多様な原因を深く追求しその対処方法を考え出す作業を、人々と協働してやり遂げる力を伸ばしたい人、入学前には、本学の教育理念について理解し、高校での基本とされる科目をしっかり勉強し、幅広い視点から深い洞察力を身につけておく必要があります。」  
上記方針は大学ウェブサイトや募集要項で広く社会に公表している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本学科では、上記「学生受け入れ方針」に基づき、学生募集および入学者選抜を行っており、学部教授会にて審議・承認を得ている。志願者数はこの数年間1000人程度とほぼ一定数で推移しており、募集人数に対して十分な競争的環境を保つ受験者数を確保している。入試方法として、AO入試、公募制推薦入試、京女高・指定校推薦入試、一般入試前期・後期、センター試験利用入試、社会人特別入試そして編入学試験を実施している。いずれの入試方法についても、学科の定めた入試科目や方法に従い、公正かつ適切に選抜を行っている。志願者に対しては十分な猶予期間をもって募集要項を公開することにより本学科の求める学生像を理解してもらっている。また、選抜結果については大学HPを通じて広く公表している。2017年度の入学者数は定員290名に対して315名であり、定員超過率は1.09である。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> ※個別の視点での記入は不要です。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 学生募集と入学者選抜の在り方については、本学科が掲げる学生の受け入れ方針に基づき、学部入試委員会で定期的に検討されており、検討結果については適宜学科会議に報告されるとともに、必要があれば審議している。これを受けて、学部選出教員1名が全学の入試制度委員会に出席し、本学部の個別的観点に基づく学生募集および入学者選抜の在り方について意見を述べ、全学的なレベルでの調整に貢献している。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

<b>一般的なコメント(総評)</b> 学生の受け入れ方針、学生募集及び入学者選抜、収容定員に基づく適正な管理、学生の受け入れの適切性についての定期的な点検・評価等について、現状が的確に把握され、適切な対応がなされていると評価できます。
<b>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</b>

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

<b>意見</b>
-----------

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	6 教員・教員組織	点検単位	現代社会学部 現代社会学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本学科では、教育内容および研究対象領域を踏まえて教員像を明確にし、教員組織は教育課程および研究領域を踏まえてその編制方針を定め、教員人事(採用・昇格)に当たっている。具体的には、学科の人事事項調整委員会で検討し、現代社会学科会議での議をもって公募採用人事案として全学常設人事委員会にて審議・了承を得ている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

教員組織の編制方針について、対外的に明示できていないため、整理して明文化する。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本学科の2017年度における、教員数は28人、年齢構成は60代3名、50代9名、40代12名、30代以4名、教員平均年齢は48.9歳であり、男女比は16/12、教授17人、准教授8人、講師1人、助教2人という構成である。専任教員一人あたりの学生数は42.5人(2017年度)である。これに加えて、外国人教員が2018年度に2名が着任した。各教員の担当科目や学科のカリキュラム編成は、学科としての教育課程に対応するものとなっているとともに、各教員の専門領域と関連するものである。

本学科開設科目総数に占める専任教員の担当科目の比率(専兼比率)は31.8%となっている。必修科目の96.7%は専任教員が担当している。学科のカリキュラムポリシーを踏まえ、人間・環境、心理・文化、家族・地域社会、政治・公共政策、経済・ビジネス、情報、国際社会の各分野の教育課程・開講科目に対して、それぞれの分野を専門とする教員を配置しており、担当科目と各研究分野が整合するものとなっている。教員組織とそれぞれの研究分野については「大学案内」や「大学ホームページ」に公表されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

2017年度にかねてからの懸案だった外国人教員の採用が実現した。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 教員の募集・採用・昇格に関しては、「京都女子大学教員資格審査規程」および「内規」に明文化されており、本学部においてこれらに則って教員人事の審査がなされている。なお2017年度には外国人の専任教員2名(助教2名)の採用を行った。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**④ 教員の資質の向上を図るための方策を組織的かつ多面的に実施し、教員及び教員組織の改善につなげているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 本学科では、教員の教育面での資質向上のために、全学および学科独自で実施されるFD研修への参加を積極的に奨励しており、授業公開と参観についても、学部教授会等で積極的関与を促している。教育活動(授業の分かりやすさ、履修指導)に対する学生の満足度については、「学生生活実態調査」で隔年ごとに調べている。また、教員の研究活動については、教員業績データベースへの入力を学部教授会等で促しており、教員の論文等の発表の媒体として本学科は『現代社会研究』を毎年刊行しており、また1年次基礎演習で共通テキストとして用いる『現代社会を読み解く』(本学科在籍教員ほぼ全員執筆)を2015年3月に刊行した。2016年度からは「京都女子大学教員業績評価に関する規程」に基づき、前年度業績の評価を行い、学部長・学長による評価を受けて改善活動に取り組んでいる。授業アンケートにおいて質問「教員の説明や話し方はわかりやすかった。」に「5非常にそう思う」「4そう思う」と回答した割合は76.3%であり、2014年の数値と比較して若干の低下がみられる。また、他の点でも満足度の数値に低下がみられる。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 授業アンケートにおいて質問「教員の説明や話し方はわかりやすかった。」に「5非常にそう思う」「4そう思う」と回答した割合は76.3%であり、2014年の数値と比較して若干の低下がみられる。また、他の点でも数値に低下がみられており、学生の授業に対する満足度の低下傾向が見取れる。
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 本学科では毎年度実施する自己点検・評価のほか、カリキュラム検討などに合わせて学科会議や人事事項調整委員会などで教員組織の適切性について点検・評価を行っている。また、その結果を元に必要に応じて、学科会議で公募採用人事案を策定し、全学人事委員会にて提案を行っている。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

### 内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

#### 一般的なコメント(総評)

教員組織の編制、教員の募集・採用・昇任、教員の資質の向上、教員組織の適切性についての定期的に点検・評価等、目標が具体的に設定されており、達成のための施策が行われていることは評価できます。ただし、教員の教育内容(「説明や話し方」以外の授業評価項目)の評価及び研究業績の検証についても、現状把握と改善に向けた取り組みを期待します。

#### 改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

### 内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

#### 意見